

患者様各位
Distal Radial Access 導入に向けた止血管理及び穿刺部合併症の検討-Radial Access との比較から選択プロトコル作成を目指して-に関するお知らせ

研究の背景

橈骨動脈アプローチは、経大腿動脈アプローチと比較して出血性合併症が少なく、早期離床が可能であることから、心臓カテーテル検査および経皮的冠動脈インターベンションにおける標準的なアプローチとして広く普及しています。当院では橈骨を第一選択としており、遠位橈骨動脈の適応は限定的であるため、患者選択は術者の経験や判断に依存している現状があり橈骨動脈・遠位橈骨動脈を選択する明確な基準也没有ありません。そのため、当院における橈骨動脈と遠位橈骨動脈の止血管理や合併症発生頻度を比較・検討し、患者背景や手技特性をふまえた適切なアプローチを選択する基準を明らかにすることは、安全性の向上および検査・治療の標準化につながると考えられます。

研究の目的

本研究は橈骨動脈と遠位橈骨動脈における止血管理および穿刺部合併症を比較し、当院における遠位橈骨動脈の有用性および安全性を明らかにすることを目的とします。また研究で得られた結果を基に、患者背景や手技特性を踏まえた橈骨動脈・遠位橈骨動脈選択プロトコル作成の基礎資料を得ることを目的とします。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：病院通院中の 18 歳以上の男女

期 間：2026 年 9 月 1 日～ 2026 年 11 月 30 日

研究に際し行うこと

研究のための特別な検査・投薬・治療等はありません。通常の診察 および治療を継続し、その際の血圧や検査データを収集し解析することで、最適な治療の方向性を見出します。

研究に伴う患者様の負担・不利益

通常の診療を行うだけなので、研究のための患者様の金銭的負担は一切ありません。また研究のための検査や投薬は一切行いません。研究を行うことで生ずる副作用等の増加はありません。

患者様の人権擁護

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

御不明な点は、主治医・看護師または下記までお尋ねください。
皆様の御協力に感謝致します。

連絡先

社会医療法人友愛会 友愛医療センター
心臓カテーテルセンター 畠山 元気
電話：(代表)098-850-3811